

平成25年度文化遺産を活かした地域活性化事業
— デフォレスト館を通して「仙台の英学史を知る」 —

登録有形文化財 「デフォレスト館」の魅力

シンポジウム
Symposium

日時 2014年2月21日(金) 14:00 - 17:00 (開場13:30)

会場 東北学院大学土樋キャンパス8号館5階 押川記念ホール

定員 300名 / 入場無料

主催 東北学院 デフォレスト館保存復元検討委員会

東北学院大学土樋キャンパスの西端に、ひっそりと佇む「デフォレスト館」。
平成25年3月に国の登録有形文化財に登録されました。
今回のシンポジウムでは、貴重な歴史が刻まれたこの建物の魅力をお伝えします。

後援 (一社)日本建築学会東北支部 / (公社)日本建築家協会東北支部 / 宮城県教育委員会 / 仙台市教育委員会
河北新報社 朝日新聞仙台総局 読売新聞東北総局 / 毎日新聞仙台支局 / 産経新聞社東北総局



写真上から

デフォレスト館外観

デフォレスト館北側外観

玄関ホール

(3点とも写真提供・野村俊)

デフォレスト館書斎にて
[Tonoku: The Scotland of Japan]より

学校法人東北学院
www.tonoku-gakun.ac.jp/



登録有形文化財 「デフォレスト館」の魅力

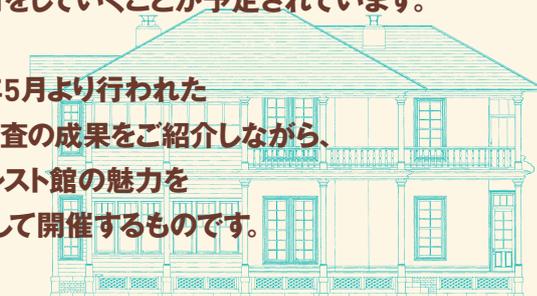
平成25年度文化遺産を活かした地域活性化事業
— デフォレスト館を通して「仙台の英学史を知る」 —

シンポジウム
Symposium

東北学院大学土樋キャンパスの西端にある西洋館は、
シップル教授一家が
その家に住んでいた最後の宣教師であったことから、
長い間「シップル館」と呼ばれてきましたが、
文化財としての価値を見直すにあたり、
最初の住人であったデフォレスト宣教師にちなんで
「デフォレスト館」と呼ぶことになりました。

平成25年3月に国の登録有形文化財に登録され、
今後も保存・活用に向けた検討をしていくことが予定されています。

このシンポジウムは、平成24年5月より行われた
デフォレスト館の建築史的調査の成果を紹介しながら、
貴重な歴史が刻まれたデフォレスト館の魅力を
多くの方に伝えることを目的として開催するものです。



【タイムスケジュール】

14:00	開会宣言	司会：櫻井一弥（東北学院大学工学部准教授）
14:00-14:05	挨拶	東北学院理事長 平河内健治
14:05-14:15	主旨説明	司会：櫻井一弥（再掲）

14:15-15:45 【第1部】デフォレスト館 その魅力

14:15-14:45 1 | デフォレストの人物像とデフォレスト館の概略

志子田光雄 東北学院大学名誉教授

14:45-15:15 2 | デフォレスト館の建築史的調査の概要と成果

野村俊一 東北大学大学院工学研究科助教（建築史学）

15:15-15:45 3 | 他事例との比較によるデフォレスト館の特徴

足立裕司 神戸大学大学院工学研究科教授（建築史学・建築論）

15:45-16:00 休憩

16:00-16:55 【第2部】ディスカッション

パネリスト：第一部の講師3名/モデレータ：櫻井一弥（再掲）

- デフォレスト館の歴史的意義について
- 今後のデフォレスト館活用のアイデア
- デフォレスト館保存活用の方向性についての希望・意見
- 質疑応答

16:55-17:00 まとめと閉会の挨拶 司会：櫻井一弥（再掲）

東北学院大学 住所

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1

アクセス

JR＝「仙台駅」から徒歩20分

地下鉄＝仙台駅より富沢駅行乗車、

「五橋駅」または「愛宕橋駅」下車徒歩5分

バス＝仙台駅前より長町方面バスにて

「仙台市立病院」前で下車徒歩5分

